



緑小だより

令和3年5月31日(月)発行

学校教育目標

考える子ども
豊かな子ども
強い子ども

皐月の空に子どもたちの健康を願って

校長 石塚 睦

青く澄んだ青空をさわやかな風が吹き渡り、屋外での活動が気持ちよい季節となりました。まさに「五月晴れ」を実感するこの頃です。しかしながら、北海道全域にコロナ対策緊急事態宣言、旭川市も特定措置区域の指定が出される事態となり、5月22日(土)に予定していた第48回運動会も間際になって延期することとなりました。子どもたちも同じ気持ちだったと思いますが「今年こそは」と思っていただけに、本当に残念でなりません。さらに緊急事態宣言が延長されましたので、遠足などの行事も変更せざるを得ません。運動会開催期日は、他の行事との調整が付きましてからお知らせいたします。

さて、これほどまでに「コロナ対策」が長期化しますと、子どもたちの心と体の成長、人格形成にどんな影響が及ぶのかを心配せずにはいられません。以前にもお伝えしましたとおり、本校の子どもたちは「フラストレーション耐性」が非常に高く、息苦しい毎日であっても、明るく前向きな気持ちを失わずに学校生活を送っております。しかし、今回の運動会のように、「期待をもたせて準備を進め、取組を励まして気持ちを盛り上げ、さあ、いよいよ…というところで奈落の底に突き落とす」というようなことが続いてしまいました。子どもたちの笑顔が見る見る曇っていく様子が脳裏をよぎり本当に残酷なことをしたと悔やまれるばかりです。そして、子どもたちが、「どうせまた…」と希望や期待を捨てて、無力感から自己肯定感も下げてしまうのではないかと懸念をもちたいと思います。

実際に、国立成育医療研究センターが7歳から17歳までの子どもと保護者を対象に行った「感染拡大が及ぼす影響についてネット上でのアンケート」では、「気持ちが沈む」「勉強に集中できない」「やる気が出ない」「コロナ感染よりも感染したことによる差別や偏見が怖い」といったストレス障害の傾向を示す子どもたちは72%にも及ぶとの調査結果も出されています。

現状では、本校の子どもたちにコロナ対応のストレスに因る情緒の不安定や体調不良などは見受けられませんが、前述のようなことが重なったり、長く続くようであればストレスを徐々に蓄積させてしまうのではないかと憂慮されます。一人一人にしっかりと目を向け、心の声にも耳を傾けることで子どもたちの不安や焦燥、うつろな気持ちをいち早く見付け、適切に対処して解消することが重要となります。

子どもたちの心と体の健康の維持には、学校とご家庭、場合によってはスクールカウンセラーなどとも緊密に連携してまいります。ちょうど今、「保護者との教育懇談」を実施しておりますので、些細なことでもお子様の様子で気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

児童会総会

5月7日に児童会総会を行いました。1年間の児童会の活動内容を決める重要な総会でした。各学級からの質問には、各委員会の委員長が丁寧に回答していました。学校のリーダーとしての頼もしい姿を見ることができてとても嬉しく感じました。学校生活をより楽しく充実したものにするために、今後も児童会の活躍に期待しています。



6月の学校行事

1	火	交通安全街頭指導 保護者との懇談④	
2	水	保護者との懇談⑤	
3	木	保護者との懇談⑥	
4	金	朝会・一斉下校訓練	
8	火	避難訓練①	
9	水	耳鼻科健診(2~5年)(延期になります)	
15	火	弁当の日	
18	金	ALT来校	
21	月	修学旅行結団式	予定
22	火	修学旅行①(6年)	
23	水	修学旅行②(6年)	
24	木	6年回復休業日	
25	金	人権教室(4年)	
28	月	委員会③	
29	火	携帯安全教室(6年)	

校外清掃を行いました

5月6日、全学年で校外清掃を行いました。グラウンド、駐車場、らんらん小道など各学年がそれぞれの分担の場所で落ちているごみやペットボトルなどを拾い集めました。少し肌寒い天候でしたが、子どもたちは意欲満々で渡されたごみ袋の中にどんどん拾ったごみを入れ、すぐに袋が一杯になっていました。学校周辺がとてもきれいになり子どもたちも達成感を得たようでした。



交通安全わかば教室

5月7日に1年生が「交通安全わかば教室」を行いました。旭川市の交通安全指導員の方を講師として招き、楽しく交通安全について学びました。横断歩道を渡る時の注意点や自分の命は自分で守ることの大切さなど、講師の方の話をしっかりと聞く1年生の態度がとても立派でした。



教育実習(5月10日~18日)

今年は、北海道教育大学の4年生3人が実習を行いました。積極的に子どもたちと関わり、一生懸命に授業を行う中で「教師になる」という決意を強めていました。

